

# 要望書

2008年2月1日

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

全国薬害被害者団体連絡協議会  
代表世話人 花井十伍  
(構成団体)  
財団法人 いしずえ(サリドマイド福祉センター)  
イレッサ薬害被害者の会  
MMR(新3種混合ワクチン)被害児を救援する会  
大阪HIV薬害訴訟原告団  
財団法人 京都スモン基金  
陣痛促進剤による被害を考える会  
スモンの会全国連絡協議会  
東京HIV訴訟原告団  
薬害肝炎全国原告団  
薬害筋短縮症の会  
薬害ヤコブ病被害者・弁護団全国連絡会議

全国薬害被害者団体連絡協議会(略称「薬被連」)は、薬害被害者当事者団体のみで構成される唯一の連絡協議会です。私たちは薬害被害の教訓を生かし、薬害根絶を実現するべくさまざまな活動を行っています。

私たち薬害被害者は「薬害根絶誓いの碑」が厚生労働省の敷地内に建立された8月24日を「薬害根絶デー」として、毎年、厚生労働大臣に直接要望書を提出し、議論を重ねてきました。

本日は、ここ数年続けてその要望書の中でお願いしてきた「医療機関窓口でのレセプト並み明細書発行」の件に関わる緊急の課題について下記の通り要望致します。

## 記

### 1、医療費の詳細な明細書を全ての患者に発行してください。

医療機関の窓口で、薬剤名なども全て記載したレセプト相当の詳しい明細書を、全ての患者に発行することを義務化してください。特に、レセプト請求をオンライン化している医療機関に対しては、即刻義務化をしてください。その他の医療機関についてもできるだけ早期の実現を要望します。現在のように、患者から請求があった場合のみの発行にとどめたり、発行を医療機関の努力義務のままにしておくことは、厚生労働省が推進する医療安全対策や薬害防止対策に大きく矛盾します。

### 2、医療費の詳細な明細書を無料で発行してください。

医療機関の窓口で、薬剤名なども全て記載したレセプト相当の詳しい明細書を患者に発行する際には、無料で発行することを義務化してください。特に、レセプト請求をオンライン化している医療機関に対しては、即刻無料での発行を義務化してください。その他の医療機関についてもできるだけ早期の無料化を要望します。2006年の5月に川崎二郎厚生労働大臣(当時)は、国立系の医療機関に対して無料で発行するよう指示したことを明言しています。また、厚労省中医協の検証調査では、一方で一部の医療機関では、1枚の発行に対して5000円の手数料をとるなど、患者に対して法外な要求をしている医療機関が放置されていることが明らかになっています。

### 3、DPCの場合でも、詳細な内容を明細書に記載してください。

医療機関の窓口で、レセプト相当の詳しい明細書を患者に発行する際には、医療費が包括払いになっている場合でも、個々の薬剤名などの詳細な内容も必ず付記することを義務化してください。

以上